



感染症週報



小笠原での流行状況

第16週（4月13日から4月19日まで）

父島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、不明発しん症の報告がありました。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

第15週（4月6日～4月12日）

【警報・注意報】

なし

【ピックアップ】

【RSウイルス】

乳幼児に多く、初夏ごろから増加し、夏にピークになります。風邪のような症状が数日続き、多くは軽症で回復しますが、まれに重症化することもあります。2歳までにほぼ全員が少なくとも一度は感染するといわれています。2026年4月1日より、妊婦を対象としたRSウイルスワクチンの定期接種が開始され、原則無料で接種可能となりました。妊娠28週～36週の妊婦が対象で、ワクチンにより赤ちゃんに免疫が移行し、生後早期の重症化を防ぐ効果が期待されています。子どもを感染症から守るために、周囲の大人もしっかりと予防しましょう。



夏に向けて増える感染症 part2

Part1の“夏風邪”以外に気を付けたほうがいい感染症をご紹介します。

食中毒を起こす細菌

夏は高温多湿で菌が繁殖しやすい環境になります。25～40℃で急激に増えるため、日本の夏は特に危険です。

- ☆カンピロバクター
…生の鶏肉に注意。
- ☆腸管出血性大腸菌O157
…生肉・生野菜に注意。
- ☆黄色ブドウ球菌
…手の傷等から食品へ。
- ☆腸炎ビブリオ
…夏の海水で増えます。
刺身やお寿司に注意。



生き物が媒介する感染症

「媒介」とは“病原菌やウイルスが、人から人へ移動する際、その「橋渡し」をするもの”のことです。

【蚊によるもの】

- ☆デング熱…デングウイルスを持ったヒトスジシマカ
- ☆日本脳炎…日本脳炎ウイルスを持ったコガタアカイエカ

【ダニ類によるもの】

- ☆SFTS…SFTSウイルスを持ったマダニ
- ☆ツツガムシ病…リケッチアという細菌の一種を持ったツツガムシ

感染症メモ

夏はアウトドアで休日を楽しまれる方も多いと思います。屋外活動を楽しむ際は、食中毒を防ぐために、石けんでの手洗いや調理器具の衛生、食材を冷やしておく等、管理を心がけましょう。

山で過ごす場合は、長袖・長ズボンの着用等、虫に刺されない対策をお願いいたします。帰宅後、入浴時に刺された跡がないかを確認することも大切です。



習慣にしよう!

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所